



翔雲

進路ニュース 号外 令和八年四月一日

国立大学合格五十三名（現役五十三名）

大阪大学一名、九州大学一名、筑波大学一名、佐賀大学十一名、長崎大学十一名の合格。

福岡大学四十八名など、私立大学二百六十四名合格。

令和七年度卒業生は、国立大学に五十三名、私立大学に延べ二百六十四名が合格しました。

「大学入学共通テスト」の平均点が昨年度よりも大きくダウンした影響で、全国的に「弱気の出願」となり、安全志向から志望大学を下げる受験生が多かった中、志望校を貫き、真摯な姿勢で個別試験対策に取り組み、んだ生徒が合格を掴み取りました。高い志とチャレンジ精神を持ち、判定が悪くても逆転を信じて最後まで粘り強く取り組み、組んだ結果、大逆転で合格を取った生徒が多かったことが今年度の卒業生の特徴でした。

国立大学については、学校推薦型選抜では福岡教育大、佐賀大に二名ずつ、総合型選抜では共通テストを課す入試で長崎大に一名合格しました。その要因として、早期からの志望校合格を見据えた準備、学業、人物はもちろんのこと学校推薦に値するアピール性をもった活動実績、それに近年よく課せられるようなつた学力試験をクリアできる学力、などが挙げられます。一般入試では、十一年ぶりに大阪大に現役合格を果たしました。また、九州大は二年連続の合格、佐賀大にも十一名と二桁の合格を果たし、後期でも五名が合格するなど健闘しました。

私立大学については、各生徒が自分に合った受験の仕方を考え、福岡大学に延べ四十八名が合格したほか、西南学院大学にも五名の合格が出ました。

専門学校は医療系の人気は依然堅調で、県内や隣県の福岡、長崎の学校に多数進学しました。「少子化の時代の進学」とはいうものの、研究環境が優れた大学や、就職に強い学問系統に受験生の人気が集中すること、大学入学共通テストで高得点をとるのが難しいことから、早期からの受験準備が必要であるという事実は、今年度の入試結果を見ても明らかです。また、合格を勝ち取るためにも日々の学習の積み重ね、不利な条件でも諦めずに挑戦する精神力も必要となります。

先輩方の残した実績を見て、皆さんの日々の過ごし方がどうあるべきかを見直す契機としてください。

短期大学	計
福岡工業大短期大学部	3
福岡短大	1
中村学園大学短期大学部	1
西九州大学短期大学部	1
合 計	6

専門学校	計
横浜医療センター付属横浜看護学校	1
佐賀医療センター 好生館看護学院	4
燐野医療センター附属看護学校	4
佐世保市立看護専門学校	2
九州国際情報ビジネス専門学校	3
公務員セミナー佐世保校	3
その他	15
合 計	32

私立大学	現	既	計
国学院大学	1		1
同志社大学	1		1
龍谷大学	4	1	5
関西大学	2		2
近畿大学	2		2
九州産業大学	50		50
久留米大学	46		46
西南学院大学	5		5
中村学園大学	10		10
福岡大学	48		48
福岡工業大学	7		7
西九州大学	17		17
長崎国際大学	4		4
その他	65	1	66
合 計	262	2	264

国立大学	現	既	計
山口東京理科大学	1		1
山口県立大学	1		1
高知工科大学	1		1
北九州市立大学	1		1
福岡県立大学	2		2
長崎県立大学	6		6
熊本県立大学	3		3
宮崎公立大学	1		1
合 計	16		16

国立大学	現	既	計
山口県立大学	1		1
宮崎公立大学	1		1
合 計	2		2

国立大学	現	既	計
山口県立大学	1		1
宮崎公立大学	1		1
合 計	2		2

国立大学	現	既	計
筑波大学	1		1
大阪大学	1		1
岡山大学	1		1
高知大学	1		1
九州大学	1		1
九州工業大学	1		1
福岡教育大学	3		3
佐賀大学	11		11
長崎大学	11		11
大分大学	1		1
宮崎大学	3		3
鹿児島大学	1		1
鹿屋体育大学	1		1
合 計	37		37

就職	計
就職	2